
令和6年度
全国学力・学習状況調査の結果の概要

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

1 実施概要

(1) 実施日 令和6年4月18日(木)

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 実施教科

①教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

※知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の改善等に資するよう、知識と活用を一体的に問われた。

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

- ・児童生徒に対する調査 (Webによる回答)
- ・学校に対する調査 (Webによる回答)

(4) 実施校数 悉皆調査

	調査対象 学校数	調査実施校	
		18日に調査を 実施した学校数	19日以降に調査を 実施した学校数
市町立小学校	217	217	0
義務教育学校(前期課程)	2	2	0
特別支援学校(小学部)	2	2	0
市町立中学校	93	90	3
義務教育学校(後期課程)	2	2	0
県立中学校	3	3	0
特別支援学校(中学部)	2	2	0
公立学校計	321	321	

2 教科に関する調査の結果概要(公立)

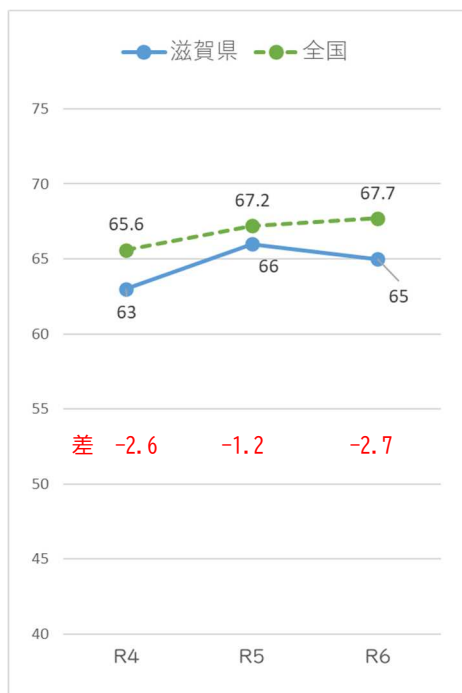
○各教科における本県と全国の平均正答数と平均正答率(%)

	教科	平均正答数/設問数			平均正答率		
		本県	全国	全国との差	本県	全国	全国との差
小学校	国語	本県	9.1/14	-0.4	本県	65	-2.7
		全国	9.5/14		全国	67.7	
	算数	本県	9.9/16	-0.2	本県	62	-1.4
		全国	10.1/16		全国	63.4	
中学校	国語	本県	8.4/15	-0.3	本県	56	-2.1
		全国	8.7/15		全国	58.1	
	数学	本県	8.1/16	-0.3	本県	51	-1.5
		全国	8.4/16		全国	52.5	

○ 令和4年度から令和6年度全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移

【小学校】 <平均正答率の経年変化>

国語

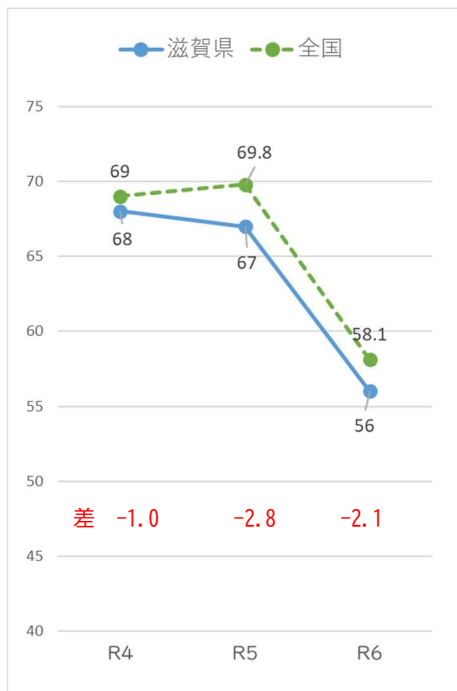


算数

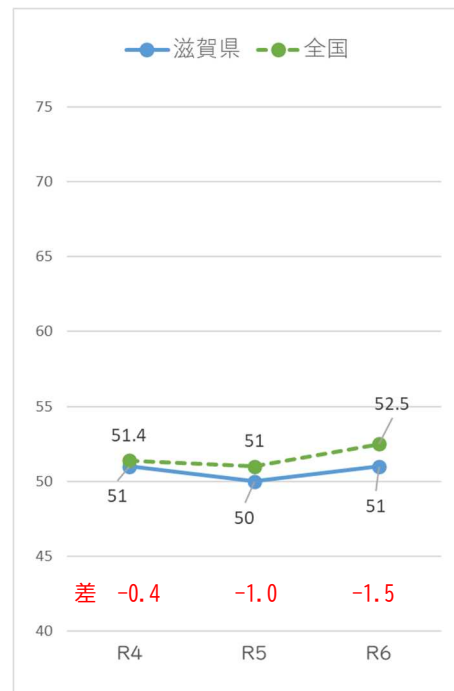


【中学校】 <平均正答率の経年変化>

国語



数学



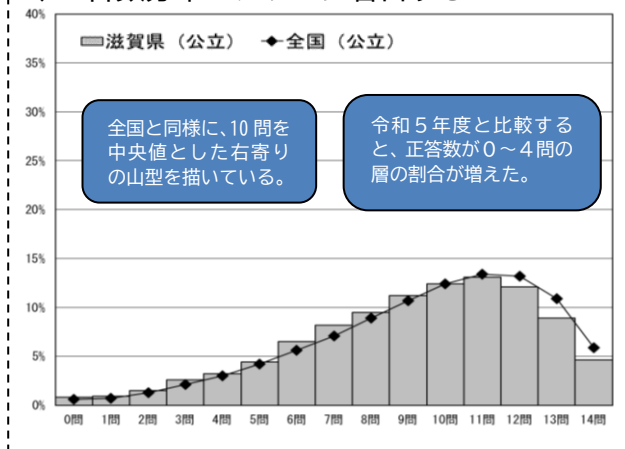
【国語】

小学校

◆本県の児童の状況を分析すると…

- 文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて適切に説明したものを選択する設問の平均正答率は80.4%であり、全国平均を0.1%上回った。
 - ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして伝えたいことを明確にすることができていた。
- 物語を読んで心に残ったところとその理由を書く設問における平均正答率は、67.8%であり、全国平均を4.8%下回った。無解答率も15.6%あった。
 - ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしたことをもとに、自分の考えを文章でまとめることに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の視点で分析すると…

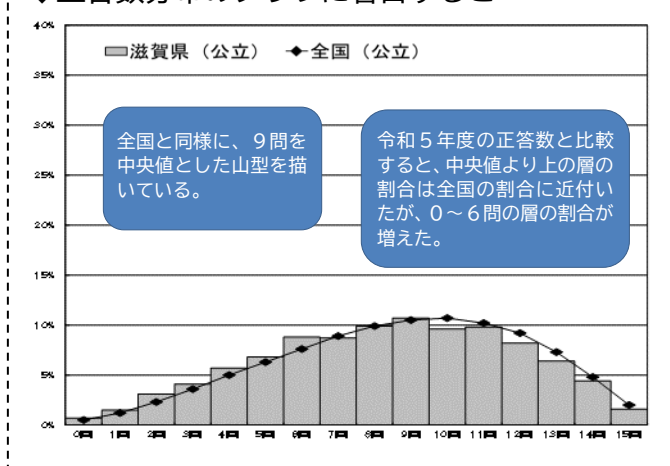
「書くこと」の設問では、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができていた。

「読むこと」の設問では、物語を読んで話し合ったことを踏まえて、自分の考えを記述することに課題が見られた。

◆本県の児童の状況を分析すると…

- 「具体と抽象など情報と情報との関係」について理解していることをみる設問においては、改善の状況にあると考えられる。
 - ・昨年度の同様の設問における全国平均との差が4.9%であったのに対し、今年度は1.9%に縮まった。
- 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明するという記述式の問題の平均正答率は43.0%であり、全国平均を6.3%下回った。無解答率も19.4%あった。
 - ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の視点で分析すると…

「書くこと」の設問では、物語を書くという目的に応じて集めた材料を取捨選択したという書き手の意図を理解することができていた。

「話すこと・聞くこと」の設問では、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること、「書くこと」の設問では、表現の効果について説明することに課題が見られた。

中学校

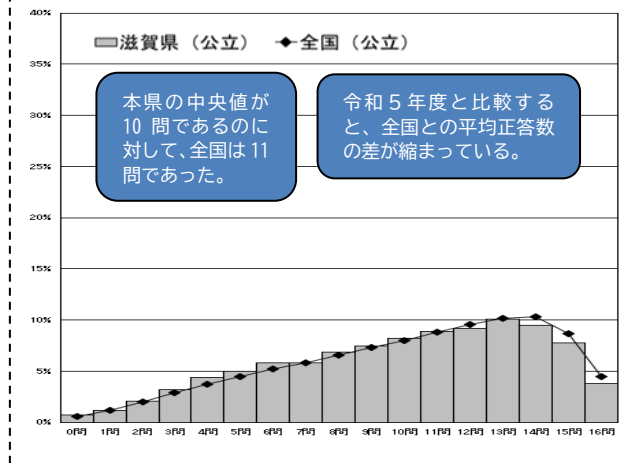
【算数・数学】

小学校

◆本県の児童の状況を分析すると…

- 「図形」の領域における平均正答率は64.7%であり、全国平均を1.6%下回ったが、昨年度と比べると、全国平均との差は0.2%の改善が見られた。
 - ・直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる設問では、全国平均と同等であった。
- 「変化と関係」の領域における平均正答率は49.6%であり、全国平均を2.1%下回った。
 - ・問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の視点で分析すると…

「図形」の領域の設問において、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて説明する際に、底面や側面の必要な情報を目的に応じて取り出すことはできていた。

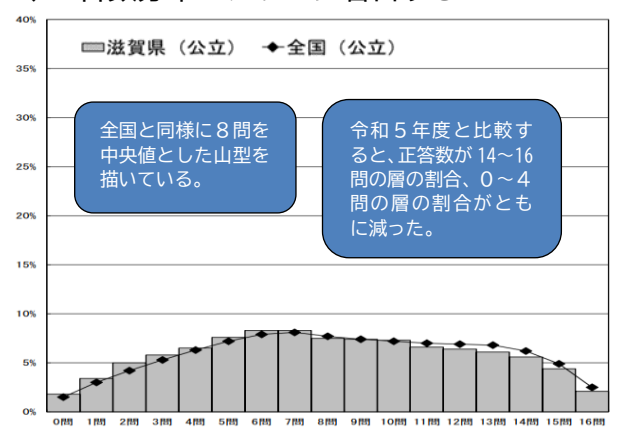
「変化と関係」の領域の設問において、道のりが等しい場合の速さを比べる際に、与えられた時間の情報を基に、どちらが速いか判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られた。

中学校

◆本県の生徒の状況を分析すると…

- 「数と式」「図形」の領域における平均正答率は、全国平均をそれぞれ1.5%、1.8%下回ったが、小学校6年時の令和3年度調査(算数)と比べると、全国平均との差はどちらも1.9%の改善が見られた。
 - ・回転移動について理解できているかをみる設問における平均正答率は68.1%であり、全国平均と同等であった。
- 「関数」と「データの活用」の領域における平均正答率はそれぞれ58.7%、52.5%であり、全国平均をそれぞれ2.0%、3.0%下回った。
 - ・一次関数について、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られた。
 - ・与えられたデータから最頻値を求めることに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の視点で分析すると…

「関数」の領域の設問において、二つのグラフにおけるy軸との交点が何を表しているか読み取ることができていた。

「データの活用」の領域の設問において、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、根拠を基にして判断の理由を説明することに課題が見られた。

3 質問調査の結果概要

○児童生徒質問調査

- ・質問項目数は、小学校 63 項目（昨年度より 4 項目増）、中学校 65 項目（昨年度より 7 項目減）となった。
- ・ICTを活用した学習状況について、児童生徒がどのように点に有用性を感じているかなど、より決め細やかに把握できるよう項目が充実した。
- ・読書に関する項目が削除された。

○学校質問調査

- ・質問項目数は、小学校 76 項目（昨年度より 5 項目減）、中学校 80 項目（昨年度より 9 項目減）となった。
- ・学校運営に関する状況、教職員の資質向上に関する状況について、教職員間の情報共有の状況や学校組織の心理的安全性の確保などの観点からの項目が追加された。

(1) 「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」における3つの視点の指標項目等

各質問項目に対して、4つの選択肢の中から肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「よく行った」、「どちらかといえば行った」等）を選択した割合（%）を示した。

① 視点1「学びを実感できる授業づくり」

質問項目	校種		R 5 調査	R 6 調査	前回調査との比較
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 [児童生徒質問]	小	本県	78.3	81.1	+2.8
		全国	78.8	81.9	+3.1
	中	本県	76.8	78.2	+1.4
		全国	79.2	80.3	+1.1
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。 [児童生徒質問]	小	本県	62.6	65.0	+2.4
		全国	63.7	67.6	+3.9
	中	本県	56.2	56.9	+0.7
		全国	62.1	64.8	+2.7
授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。 [学校質問]	小	本県	88.3	89.6	+1.3
		全国	90.4	89.3	-1.1
	中	本県	85.3	78.3	-7.0
		全国	87.0	85.1	-1.9
児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか。 [学校質問] *1	小	本県	62.6	67.3	+4.7
		全国	65.2	69.0	+3.8
	中	本県	56.9	56.7	-0.2
		全国	62.6	67.5	+4.9

*1 ICT機器の使用に関する質問項目は、「ほぼ毎日」を選択した割合を示した。

② 視点2「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」

質問項目	校種		R 5 調査	R 6 調査	前回調査との比較
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 [児童生徒質問]	小	本県	89.4	89.2	-0.2
		全国	89.8	89.9	+0.1
	中	本県	86.3	88.7	+2.4
		全国	87.3	90.4	+3.1
将来の夢や目標を持っていますか。 [児童生徒質問]	小	本県	79.7	80.5	+0.8
		全国	81.5	82.4	+0.9
	中	本県	63.3	63.5	+0.2
		全国	66.3	66.3	±0.0
人が困っているときは、進んで助けていますか。 [児童生徒質問]	小	本県	92.1	93.1	+1.0
		全国	91.6	92.7	+1.1
	中	本県	87.0	88.5	+1.5
		全国	88.1	90.1	+2.0
学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、 <u>新たな考え方に気付いたりすることができていますか。</u> [児童生徒質問] *2	小	本県	82.5	86.3	+3.8
		全国	81.8	86.3	+4.5
	中	本県	77.5	83.5	+6.0
		全国	79.7	86.1	+6.4

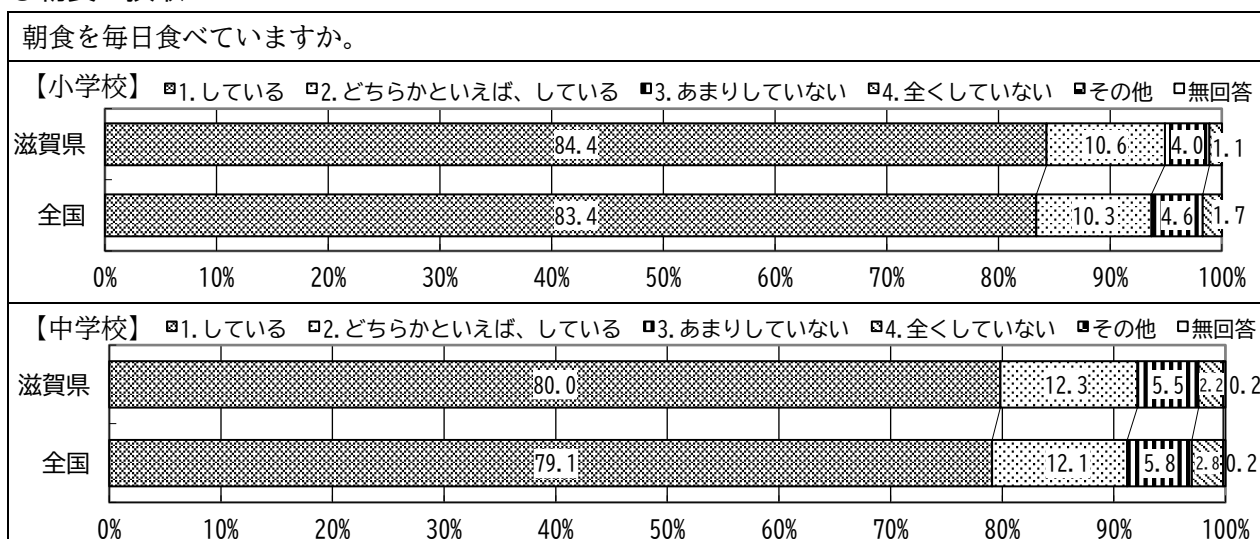
*2 令和5年度は、「広げたりすることができていますか。」であった。

③ 視点3「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」

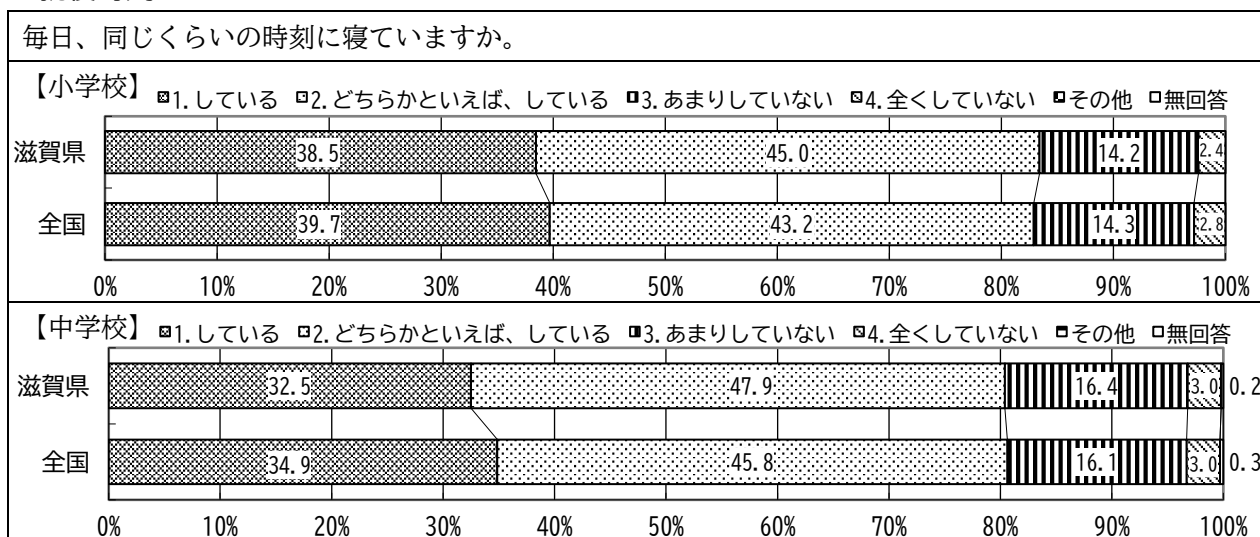
質問項目	校種		R 5 調査	R 6 調査	前回調査との比較
児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。 [学校質問]	小	本県	96.9	95.9	-1.0
		全国	96.2	97.0	+0.8
	中	本県	96.1	95.8	-0.3
		全国	95.2	96.5	+1.3
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか。 [学校質問]	小	本県	92.7	96.8	+4.1
		全国	95.6	96.0	+0.4
	中	本県	89.2	89.7	+0.5
		全国	93.4	94.2	+0.8
近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか。 [学校質問]	小	本県	55.4	65.4	+10.0
		全国	60.6	64.0	+3.4
	中	本県	56.8	58.8	+2.0
		全国	66.8	69.0	+2.2
学校では、児童〔生徒〕が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かしましたか。 [学校質問]	小	本県	87.4	79.6	-7.8
		全国	90.6	87.8	-2.8
	中	本県	73.5	76.3	+2.8
		全国	84.4	82.8	-1.6

(2) 児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目（児童生徒質問）

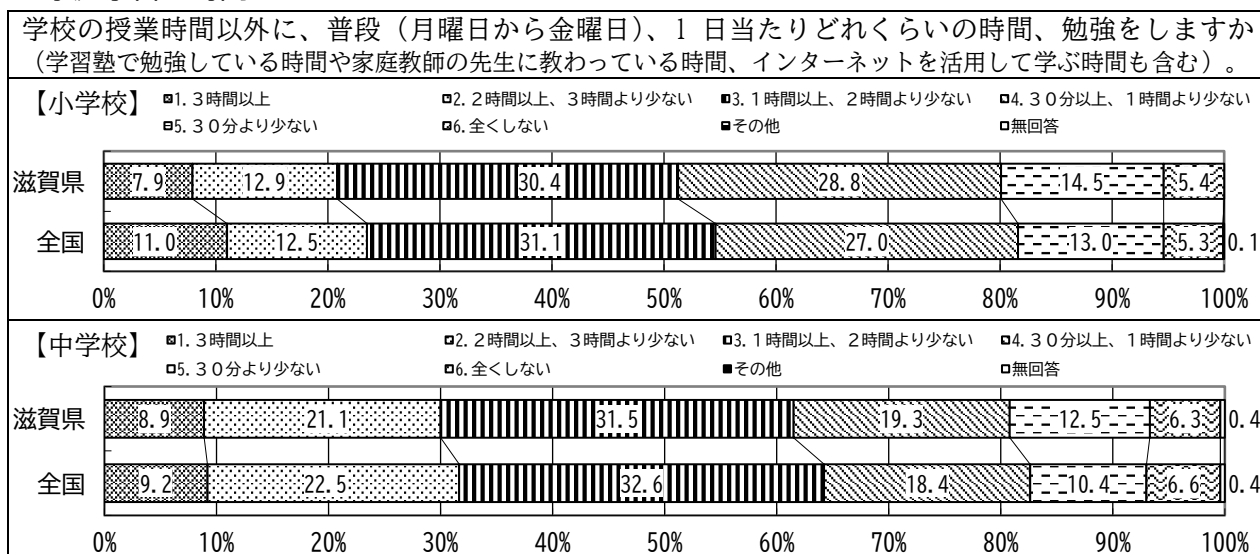
○朝食の摂取



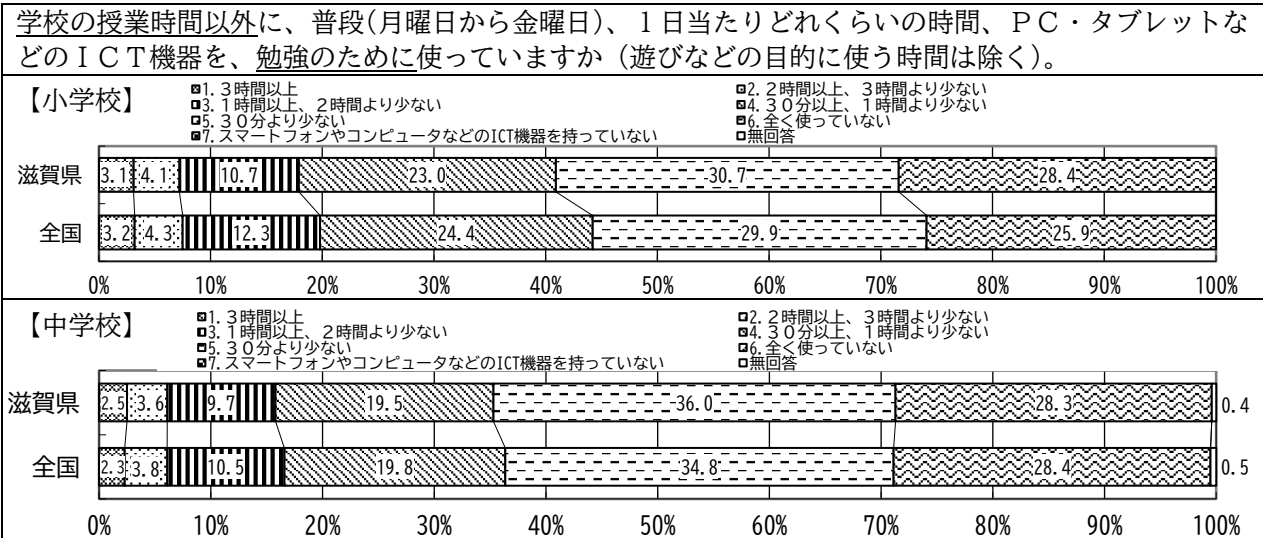
○就寝時刻



○家庭学習の時間



○ICT 機器の使用時間



(3) 授業における児童〔生徒〕一人一人に配備された学習用端末の活用についての質問項目

(学校質問)

授業におけるICT機器の活用場面の程度に関する項目を抽出し、選択肢の中から肯定的な回答（「ほぼ毎日」、「週3回以上」）を選択した割合（％）を示した。

項目	校種		R 5 調査	R 6 調査	前回調査との比較
児童〔生徒〕が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）	小	本県	69.8	78.7	+8.9
		全国	70.0	76.6	+6.6
	中	本県	63.7	60.9	-2.8
		全国	64.6	70.4	+5.8
児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面	小	本県	50.9	55.0	+4.1
		全国	45.8	55.1	+9.3
	中	本県	39.2	49.5	+10.3
		全国	44.2	51.9	+7.7
教職員と児童〔生徒〕がやりとりする場面	小	本県	55.8	53.7	-2.1
		全国	53.1	59.7	+6.6
	中	本県	46.0	51.6	+5.6
		全国	48.7	57.4	+8.7
児童〔生徒〕同士がやりとりする場面	小	本県	40.5	40.0	-0.5
		全国	40.0	45.0	+5.0
	中	本県	25.5	45.3	+19.8
		全国	33.7	41.1	+7.4
児童〔生徒〕が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面	小	本県	49.6	51.3	+1.7
		全国	45.0	52.8	+7.8
	中	本県	30.4	34.0	+3.6
		全国	35.7	42.2	+6.5